



この一般質問の映像は
こちらから

■ コロナ禍での観光振興について

一 般 質 問



関 幸夫

質問

感染拡大防止と 誘客の両立は

町 施設と観光客の予防徹底

コロナ禍における感染拡大防止と、観光誘客の両立をどう図るのか。

答 問

(観光商工課長) 事業所においては、国の示すガイドラインを指標に対策を実施している。各施設の取り組みの見える化や観光客自身にも予防徹底を促し、施設との双方からの対策を行い、感染リスクの軽減を図ることが重要。

答 問

地域や世代等、誘客のターゲットをどう考えているか。

(観光商工課長) 町は78%が関東地方からの誘客で、客層の70%がファミリー層。コロナ禍においてはファミリー層を中心に、その他教育旅行の誘致にも取り組んでいく。

答 問

今後の訪日観光誘客にどう取り組むのか。

(観光商工課長) インバウンド誘客は、各国においても厳しい状況であると認識している。台湾では10月から国際観光展も開始される見込み。県や那須インバウンド協議会と連携し、今までの関係性を活用し優位に進めたい。



観光客でにぎわう大丸駐車場 (コロナ禍以前)

■ テレワークの推進について

質問

テレワーク導入の支援は

町 セミナー開催などを実施

テレワーク導入の企業に対して、支援を行う考えは。

答 問

(観光商工課長) 機器の導入や整備費の助成は、国の支援策を案内している。今後、商工会等と連携し、セミナーの開催などによる支援をしていきたい。

※ サテライトオフィスを誘致する取り組みは。

答 問

(町長) 分散型社会への取り組みが、地方創生にも有効な施策である。町は総務省のおためしサテライトオフィス事業に申請し、県内で最初の登録になった。定住促進にもつながることから、事業計画づくりを進めたい。

問

事業計画づくりについて方向性は。

※サテライトオフィス：企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと

答 問

(企画財政課長) 潜在的物件が多いため、別荘管理事務所協議会や宅建協会とリンクする仕組みづくりを行いたい。

※ ワークションの取り組みは。

(企画財政課長) 那須町は、ワークションにマッチしており、誘致推進の際に検討したい。



空き家利用のサテライトオフィス

※ワークション：働きながら休暇を取ること。「ワーク」と「ケーション」から作られた造語

◆ほかに・・・「原発事故による特用林産物の出荷制限について」の質問もしています。